

平成23年5月12日

平成23年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第2回 5月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

4月下旬より増加した。昨年同時期の出現量より少ないものの、平年(40.1個/曳網)より多かった。

前年	平成22年5月6日	(7点の平均)	231.8 個
前回	平成23年4月18日	(17点の平均)	30.7 個
今回	平成23年5月6日	(7点の平均)	69.6 個

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

4月下旬より増加した。昨年同時期の出現量より少なく、平年(6.3尾/曳網)並みであった。

前年	平成22年5月6日	(7点の平均)	23.0 尾
前回	平成23年4月18日	(17点の平均)	0.1 尾
今回	平成23年5月6日	(7点の平均)	6.9 尾

○プランクトン調査

カイアシ類(カタクチイワシの重要な餌)が優占しているものの、全体的にプランクトン量が少なかった。

次回の調査は5月18日(水)に実施予定

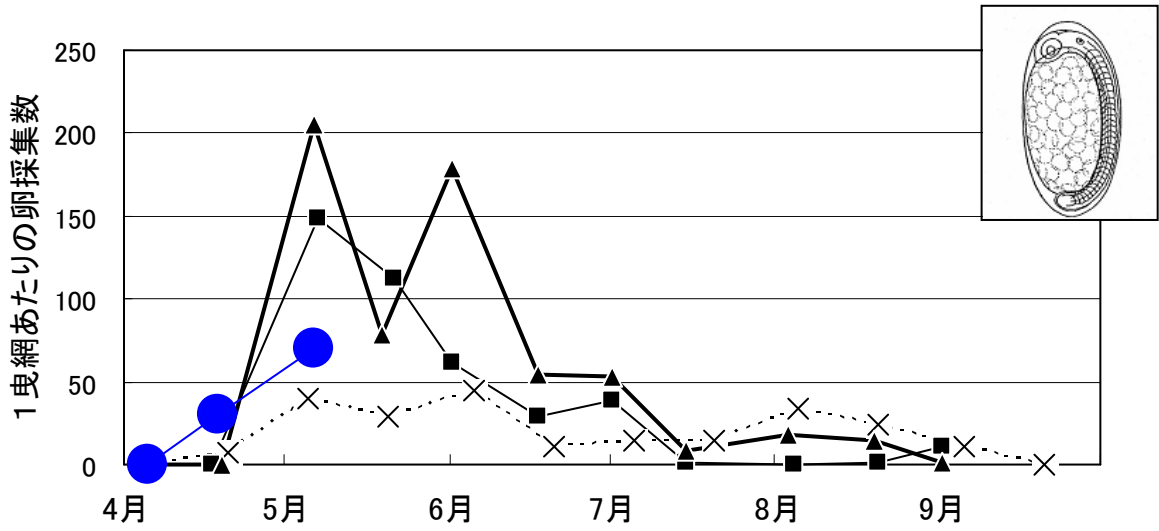
カタクチイワシ卵稚仔採集状況(5.6)



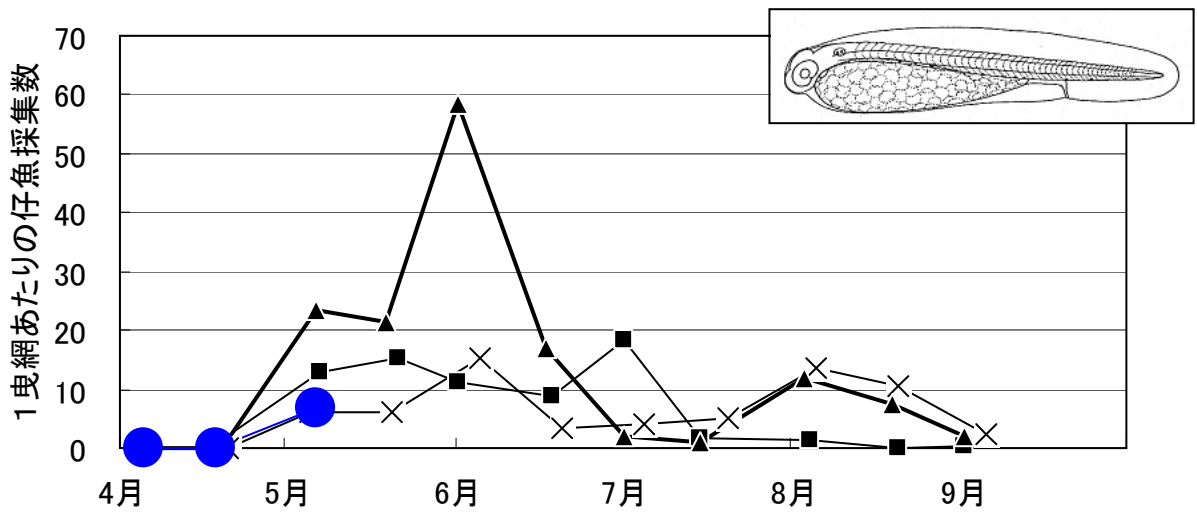
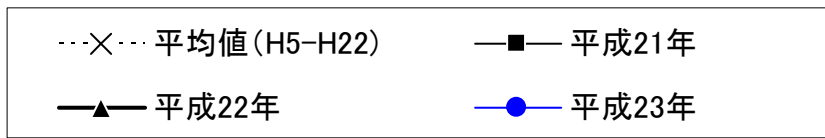
凡例

●の上側がカタクチイワシ卵数,
下側がカタクチイワシ稚仔魚を
示す。いずれも1曳網当たりの数

21 ← 卵数
●
5 ← 稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況



燧灘におけるカタクチイワシの仔魚出現状況

